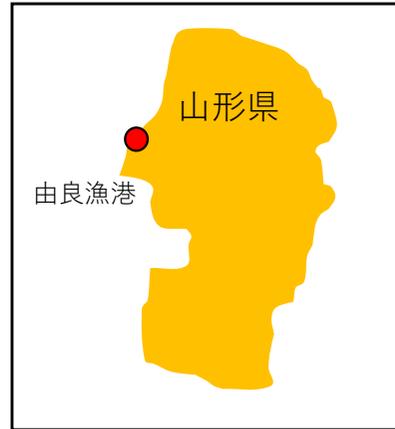


漁村生活における様々な体験の提供をととした交流人口の拡大：由良漁港（山形県鶴岡市）

概要

- 漁業就業者、観光客の減少による地域経済の衰退を抱え活気を失いつつあったこの地区では、整備された漁港や人工海浜、人工磯場などをうまく活用した地域再生を課題と捉えていた。
- 地元漁業者等の若手有志が、自治会や観光協会、漁業団体に呼びかけ、「再び訪れたいくなる、住みたいくなる、自慢したくなる“ゆら”」を目指し、由良地域協議会「ゆらまちっく戦略会議」を結成。生産・流通、人材育成・確保、文化の継承、イベント、情報発信などを展開。
- コロナ禍にあっても、年間で、漁業地区人口の約7倍を超える交流人口を創出。ファンとなった来訪者がリピーターとなり、友人知人に紹介したり、体験型教育旅行の需要も発現。水産加工品の販売増などにもつながる。



海業の取組概要



イカー夜干し作り体験

【漁業生産・流通】



ゆらまちっくの
ヒット商品
「鯛だしみそ」

市場性の低い小鯛に注目
新たな加工商品を開発

漁港や近隣の協力店
などで販売

所得向上・雇用の創出



由良の11種類の
漁法を伝えるDVD製作



定置網体験

【後継者の育成・確保と女性活躍】



ゆらまちっく
海鮮レディース



マリンレジャー体験（釣り堀）



漁船クルージング



海中神輿

【伝統文化の継承】



【各種イベントの開催】

主な取組

【漁業生産・流通】

魚食イベント、
水産加工品開発販売
水揚げ魚のブランド化
など

【後継者の育成・確保 と女性活躍】

漁業体験
漁法DVD配布
地元女性による商品
開発など

【伝統文化の継承】

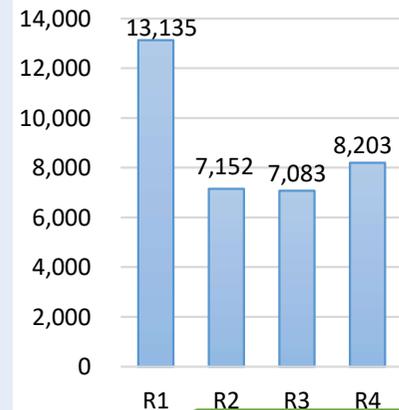
都市住民との交流
海中神輿など

【各種イベントの開 催】

寒鰯祭など魚食イベ
ント
ビーチサッカー大会
など

効果

体験型イベント利用者（人）



コロナ禍による減少もあったが、体験型イベント（釣り堀・漁業体験・食の体験など）の利用者は年間7千人以上。漁港地区人口の約7倍以上の交流人口を創出。（R2漁業地区人口：962人）

協力体制

由良自治会（事務局） 由良温泉観光協会
山形県漁業協同組合 漁業団体
チームTARA 鶴岡市農山漁村振興課

スケジュール

「裸足で歩ける由良海岸」を目指した取組
令和5年6～12月 アップサイクルに適した機械「除プラ機」製作
令和6年5～9月 回収の継続実践
7月 海洋ごみを考える日
7月 ビーチサッカー大会